

## 目次

|  |    |
|--|----|
| はじめに   | 1  |
| 自分の子供が同性愛者ではないかと思うのですが、<br>どうすればいいですか？   | 1  |
| 子供が自分のセクシュアリティ（性的嗜好）<br>について話したそうなのですが、この種の話<br>にどう対応すればいいのかわかりません。どう<br>すべきでしょうか？ | 2  |
| 私の育て方が悪かったのでしょうか？  | 3  |
| 他の人はどう思うのでしょうか？周りの人とど<br>う接していけば良いのでしょうか？  | 4  |
| 死ぬまでにどうしても孫を抱きたいと思ってい<br>ます。同性愛の人間でも子供を持つことがあ<br>るのでしょうか？                          | 6  |
| 同性愛者だとエイズになりますか？   | 7  |
| 同性愛者は異性愛者の人に比べて性に奔放なん<br>でしょうか？  | 8  |
| 同性愛者も真剣な交際をするのですか？   | 9  |
| 子供や家族が差別される可能性はありますか？  | 10 |
| 関連資料   | 11 |

# 新しい 視点で



This brochure is also available in English, Chinese, Vietnamese, Tagalog and Korean.

Japanese

アジア系同性愛者の両親、  
家族、友人達へ

子供にとって保護者の対応が大きな意味を持つことを忘れないで下さい。周りの大人が新しい世界を受け入れてくれると感じたら、子供も話しやすく感じるでしょうし、逆に真実を告白することで否定的な態度を取られると感じたら、決して話そうとは思わないでしょう。もし、保護者として、より深くこの問題について考えたいと感じたら、いつでも私達GTにご連絡ください。

**子供が自分のセクシュアリティ（性的嗜好）について私と話したいようなのですが、この種の話にどう対応すればいいのかわかりません。どうすべきでしょうか？**

子供が性についてあなたと話そうとするのは、彼らにとってあなたは重要な人間であり、あなたの助けを必要としているからだと考えられます。ですから、ここでのあなたの対応は彼らにとって大きな意味をもつはずで

ここで一番重要となるのは、子供が自分のセクシュアリティについて話そうとしているその決心を、あなた自身が尊重してあげることです。ですから、まずは彼らの話に耳を傾けるようにしてください。おそらく、たくさんの質問や疑問が、彼らもしくは自分自身に対してわいてくるでしょう。しかし、彼らが一番伝えようとしていることが何なのか、それを理解してあげてください。大切なのは、彼らは今までも、これからも同じ人間である、ということです。彼らが変わったのではなく、あなたが知っている事実が変わっただけなのです。

子供が同性愛者であるという事実を受け入れることは、感情的にも難しく、時間のかかるプロセスです。我々GTではこのプロセスを乗り越えた両親や家族が自身の経験を交えてあなたを具体的に支援していきます。

# はじめに

GenerAsians Together（通称GT）は東アジアおよび東南アジア系の同性愛者、両性愛者とその周りの人々を支援するグループです。私達は同性愛者とその家族や友人が理想的な関係を築くためのお手伝いをしています。

このパンフレットは、同性愛者がカミングアウトに至るまでの間に起こり得る様々な問題への、本人と保護者の対応について書かれています。ご意見、ご質問などございましたら、GTまでご連絡下さい。

**自分の子供が同性愛者ではないかと思うのですが、どうすればいいですか？**

この問題について考えるには相当の覚悟が必要です。そしてまず、「なぜそれを知りたいのか？」「もしも自分の子供が同性愛者だとしたら、それはどんな意味をもつのか？」「どうして今なにかしなければ、と思っているのか？」と言うことを自分自身に問いかけてみましょう。

自分の子供とセクシュアリティについて普通に話すことができますか？子供もあなたに対して同じように感じていると思いますか？もし子供が同性愛者であると告白したら、どう対応しますか？

そのため、保護者の中には「なぜ同性愛を間違っただけとして捕らえてしまうのか？」と深く考えている人もいます。そしてたいいていの人には、文化的価値観、同性愛者に対する社会的差別、間違っただけ報道、宗教観、更には同性愛に対する知識の少なさが問題の根底にあることに気づきます。

「親として我が子には人よりも優れた人間になって欲しいと思います。しかし、社会的に受け入れられない形で目立ってほしくはありません。息子を思いやる気持ちは十分あるのですが、時には、周りの人間の息子に対する目などを気にしすぎて、自分自身の息子に対する気持ちはわからなくなってしまう。」

## 他の人はどう思うのでしょうか？周りの人とどう接していけば良いのでしょうか？

まず、自分自身がいったい何をそんなに怖がっているのか、そしてその原因を見つけてください。あなたのお子さんはずでにこれに似た感情を経験しているでしょうから、あなたの力になってくれるかもしれません。

他の人に我が子が同性愛者であることを伝えるというのは、想像してみただけでも大変なことです。しかし、あなたは何を心配しているのでしょうか？他人がそれについてどう思うか？あなたの評判が下がるかもしれないから？まず、あなたがこの件に対してどう感じているのかについて考えてみましょう。多くの保護者にとって、我が子が同性愛者であることを他の人に伝えるのは、かなり勇気のいることです。そして、周囲の反応は好意的な場合も、否定的な場合もあります。

## 私の育て方が悪かったのでしょうか？

自分の子供が同性愛者であると知ったとき、両親の多くは一度はこう考えます。

その理由は、「同性を愛するのは間違っただけである」そして、「同性愛者になるにはなんらかの原因がある」という考え方です。

残念ながら、現在も非常に多くの人々が同性間の恋愛を不自然なもの、間違っただけものとしてとらえています。その理由はその人の倫理観によるものであったり、文化、宗教的背景によるものであったりします。しかし、そういう人々の大多数は同性愛者についてほとんど知らないのです。わざわざ入ってくる情報はたいいてい否定的なものであったり、ゆがめられたものであったりします。そのため、GenerAsians Together では、正しい情報の提供に尽力しています。もしも他の人達の経験や観点があなたの役に立つと感じたら、各質問の終わりにある体験談と小冊子の最後にある関連資料を見てください。同性愛への理解が深まれば、あなたの不安や不快感は多分やわらぐはずで

あなたは決して1人ではありません。同性愛の子供を持つ両親の多くが、我が子が同性愛者であることに対して罪悪感や責任を感じています。そして同性愛を「問題」だと考えるが故に、その「原因」を探し求めています。しかし、同性愛に向かうか異性愛に向かうかという性的嗜好には「原因」などないのです。

「異性愛の原因については誰も追求しようとしません。なのに人は同性愛に対しては原因を追求しがります。人に『なぜレズビアンなの？』と聞かれる度に、まるで私が正常な異性愛者の枠から落ちこぼれてしまったと見られているような気がして、傷つきます。」

死ぬまでにどうしても孫を抱きたいと思っています。同性愛の人間でも子供を持つことができるのでしょうか？

家族制度などにしばられていた昔と違って、現在では子供を持つか否かは単純に個人の選択によることとなってきています。そして、社会制度などの困難にも関わらず、多くの同性愛カップルが子供を産み育てています。選択肢としては人工授精、代理出産、養子縁組、連れ子などがあります。

もしお子さんが自分の子供を持たないと決めたら、ショックを受けたり怒りを感じたりしますか？同性愛者にとって子供を持つか否かには、両親の期待を裏切ることへの恐れや家名の存続など色々と複雑な問題が含まれています。たとえお子さんが子供を持たないと決めたことで結果的にあなたがショックを受けたとしても、お子さんの選択があなたを傷つけることを意図してのものではないことは忘れないでください。

「私とパートナーは一緒に子供を育てようと計画しています。彼女の兄弟の精子を私の卵子に人工授精するつもりです。彼女と彼女の兄はそっくりなので、産まれてくる子供が私達両方に似ればいいなと思っています。」

「パートナーがいてもいなくても、私は子供を持つつもりはありません。私自身は経済的にも、人間的にも子供を育てていく自信がないからです。でも、母は孫を欲しがっているので、母の失望を思うと子供を持つべきかな、と思うことはあります。」

周りの人間に話すにしても、いつ、誰に、どのように話すかということを選ぶ決定権は全てあなたにあるということを忘れないでください。また、お子さんとどのように進めていくかについて話し合うのも良いでしょう。そしてもっとも大切なことは、お子さんと共に、常に継続してこの問題と向き合っていくことです。その際、彼らの話に耳を傾けるだけでなく、同じような経験をした両親からの話を聞くことも助けになるはずです。GATでは、同じような境遇の両親が集まって話をできる場を定期的に提供しています。あなたも、色々なイベントを通して、同じバックグラウンドや言葉話す人と出会うことができるかもしれません。

「相手を選んで真実を告げるのはとても大切なことだと思います。時には、私もまだその準備ができていないと感じます。」

「以前、私は母が学校へ迎えに来るたびにとても恥ずかしい思いをしていました。理由は母がベトナム人だからです。数年前に私はそれを母に告げ、母をととても傷つけてしまいました。しかし、最近になって私は母を恥ずかしいと思っていたのではなかったことに気づきました。ベトナム人に対する人々の差別意識が、私が母を誇りに思う気持ちを押しつぶしていたのです。きっと、母も私がレズビアンであることで同じ気持ちを経験するのでしょう。」

## 同性愛者は異性愛者に比べて性に奔放なんですか？

多くの方が性行為だけを同性愛者の生活としてとらえる傾向があります。しかし、同性愛者も異性愛者と同じように個人の人格があり、家族、仕事、恋愛などを行っているのです。

性関係に対する考え方は文化や世代によって異なります。あなたの育った文化、世代にとっては、最初の恋人と結婚するのが一般的なのかもしれません。一方、現在の北米では同性愛者、異性愛者を問わず、結婚までに多くの人間とつき合う若者が大多数となっています。

ですから、あなたの子供が奔放な性生活を送っているとしても、それは同性愛者であることとは全く別の要因であることも考えられるのです。今日北米にすむアジア人の両親の多くは、子供達が持つ文化や価値観の相違に同様の不安を感じています。

「異性愛者も同性愛者もみんな性欲があります。同性愛者であることが、なぜ私が生涯につきあう人間の数に関係するのでしょうか？」

## 同性愛者だとエイズになりますか？

答えは「No」です。エイズはHIVというウイルスによって引き起こされる病気です。HIVは感染者の体液(血液、膣分泌液、精液など)を通して感染します。ですから、性別、セクシャリティー(異性愛、同性愛、両性愛など)に関わらず誰もが感染する可能性のある病気なのです。

テレビや新聞、周りの人を通して同性愛者＝エイズとイメージさせるような情報を耳にしたことがあるかもしれませんが、それらは必ずしも真実ではありません。それらの情報は、同性愛者とHIV感染者に対する差別意識によって作られた間違った情報です。

HIV/AIDSに関する情報は Asian Community AIDS Services で得ることができます。  
トロント(416)963-4300 または <[www.acas.org](http://www.acas.org)>

「以前、学校の先生から『同性愛者はエイズになる』と聞いていたので、レズビアンとして初めてカムアウトした時、真剣に私はエイズになるのではないかと悩みました。当時の私は先生は絶対に正しいのだと信じていたからです。しかし、それは間違っていました。」

## 子供や家族が差別される可能性はありますか？

カナダ国憲法はセクシュアリティに基づきいかなる差別をも禁じています。つまり、同性愛者であることを理由に雇用機会、福祉、その他のサービスを拒否するのは基本的人権の侵害に当たり、違法行為となります。

人種や文化を理由に差別することは憲法で堅く禁じられているにも関わらず、現在でも人種差別は存在します。同様に、同性愛者やその家族も恐れや侮蔑の目で見られることがあります。これらの差別意識は”Homophobia”(同性愛恐怖症)と呼ばれています。

Homophobiaには色々な形があり、同性愛者を茶化したり、同性愛者であることを理由にした恋人への病院での面会拒否なども含まれます。これらの差別との戦いの中で、同性愛者とその家族はしばしば孤立無援の感情にとらわれることがあります。しかし、実際にHomophobiaに向き合っ、戦っている人がたくさんいることを忘れないで下さい。同性愛の子供を理解するために、彼らをサポートしながらHomophobiaに立ち向かっている保護者も大勢いるのです。

「大晦日に父が私の恋人を夕食に招いてくれたときは、とても感激しました。父は父なりのやり方で、私のことを愛せるように努力してくれているのです。父がここにくるまでにどれだけ長い時間と努力を費やしたのか知っているだけに、今は彼に対する感謝の気持ちでいっぱいです。」

「親戚はいつも私の娘がいつ結婚するつもりなのかと尋ねます。最初の頃は、私自身それにどう答えたら良いのかわからず、言い訳をしていました。でも最近は、娘はレズビアンだから結婚しないんじゃないか。と正直に言えるようになってきました。」

## 同性愛者も真剣な交際をするのですか？

当然しています。残念ながら、理想的な同性愛カップルの関係が一般の人の目に触れることはほとんどありません。だから、あなたはお子さんが将来孤独な生活を送るのではないかと心配しているのかもしれない。しかし実際には幸せで有意義な関係を築いている同性愛カップルは大勢いるのです。愛のある関係を築くのにパートナーの性別は関係ありません。

男女それぞれの性は不完全で、両者がいっしょになって初めて完全になれるのだと信じている人は現在もいます。しかし、同性愛カップルが幸せな関係を築いていると知ることが、同性愛者の子供をもつ両親にとってなんらかの助けになることもあります。GTはその機会を提供することで、親子が理解を深めるお手伝いをしています。

両親の愛や理解、地域や社会のサポートはどんな形の関係を築くにも重要なものです。カップルがお互いへの愛情を表現することに危険を感じ、隠さなければいけないような状態では、強い絆や関係を築き上げることは非常に困難です。ですから、あなたの子供とそのパートナーを家族の一員として暖かく迎えることができれば、それはとても大きな助けとなるはずです。

「私には11年つきあっているパートナーがいます。27歳の時に彼と恋に落ちてから、現在に至るまで私達はとても良い関係を保っています。」

「自分がレズビアンであると気づいてから、ずっと女性同士のカップルを実際に見たいと思っていました。最初は女性同士が手を握っているのに違和感を感じましたが、それは単に私とその光景を見なれていなかったからだと思います。」

GenerAsians TogetherはAsian Community AIDS Services(通称ACAS)がスポンサーするプロジェクトです。ACASは東アジア、東南アジア人社会へのHIV/AIDSの情報普及と支援を目的とするグループです。



416-963-4300

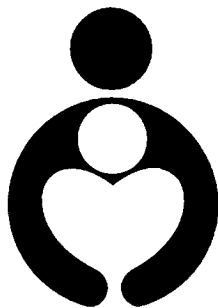
## GenerAsians Together

c/o ACAS, 33 Isabella St. Suite 107  
Toronto, ON M4Y 2P7

Phone: (416) 963-4300 ext.55

E-mail: [generasians\\_together@yahoo.com](mailto:generasians_together@yahoo.com)

Website: [www.acas.org/gt](http://www.acas.org/gt)



Funded by:



United Way



## 関連資料

|   |                           |
|---|---------------------------|
| GenerAsians Together (GT)   | (416)963-4300 ext.55      |
| Gay Asians Toronto (GAT)  | (416) 961-8239            |
| Queer Asian Youth Social Group  | (416) 963-4300 ext 29, 26 |
| Asian Community AIDS Service  | (416) 963-4300            |
| Parents and Friends of Lesbians and Gays (PFLAG) Toronto                  | (416) 406-1727            |
| 519 Church Street Community Center  | (416) 392-6874            |
| Toronto District School Board, Human Sexuality Program (Triangle Program) | (416) 397-3755            |
| Christos M.C.C.   | (416) 925-7924            |
| Metropolitan Community Church of Toronto (MCC)                            | (416) 406-6229            |
| Meal Trans Program  | (416) 392-6874            |
| Family Services Associations of Toronto                                   | (416) 438-3697            |

前述された以外のご質問等ございましたら、GTまでご連絡下さい。